資料２

ぐんま緑の県民基金事業

～みんなの森をみんなで守ろう～

令 和 ５ 年 度

実　施　報　告　書（案）

令和７年　月

群馬県

も く じ

●はじめに …… 1

●目指すべき目標 …… 1

●期間 …… 1

●令和５年度ぐんま緑の県民基金事業の総括 …… 2

●ぐんま緑の県民税評価検証委員会の総括意見 …… 3

●令和５年度ぐんま緑の県民基金事業の実施概要 …… 4

○Ⅰ 水源地域等の森林整備 …… 5

○Ⅱ 森林ボランティア活動・森林環境教育の推進 …… １０

○Ⅲ 市町村提案型事業（市町村補助） …… １３

○Ⅳ 制度運営 …… １８

○Ⅴ ぐんま緑の県民税評価検証委員名簿 …… ２２

○Ⅵ 資料集（別冊）

○　はじめに

群馬県は、県土の３分の２を森林が占めています。

豊かな水を育み、また災害を防止するなど、私たちの暮らしを支え、多くの恵みをもたらす森林は、県民共有の財産です。

県では、この大切な森林を守り、育て、次世代に引き継いでいくため、県民税均等割の超過課税として「ぐんま緑の県民税」を平成２６年４月から導入し、様々な施策に取り組んでいます。

○　目指すべき目標

木材価格の低迷や山村地域の過疎化・高齢化などにより放置され、荒廃が進む森林の整備を進めるため、また、森林を取り巻く新たな課題に対応するため、次の目標に向けて施策を進めます。

●　豊かな水を育み、災害に強い森林づくり

●　里山・平地林等の森林環境を改善し、安心・安全な生活環境を創造

○　期間

●第Ⅲ期事業期間　５年間（令和６年度から令和１０年度）
●第Ⅲ期課税期間　５年間（個人：令和６年度課税（令和５年所得分から））
（法人：令和６年４月１日以降に終了する事業年度分から）

令和５年度ぐんま緑の県民基金事業　総括

　ぐんま緑の県民税評価検証委員会は、税の使途の透明性・公平性を確保し、事業内容の意見聴取を行うため、平成２６年に設置され、平成 26 年度に３回、平成２７年度に３回、平成２８年度に２回、平成２９年度に３回、平成３０年度に６回、令和元年度に４回、令和２年度に４回、令和３年度に４回、令和４年度に５回、令和５年度に２回、計３６回の委員会を開催しました。

□　ぐんま緑の県民税評価検証委員会の総括意見

令和５年度ぐんま緑の県民基金事業の実施概要

財　源

【収入】基金（基金残高・税収、寄附金、運用益、諸収入）
1，297，330千円

（内訳）・基金残高411，414千円　　　・税収877，921千円
　　　　・寄附金　　　7，966千円　　・運用益　　　29千円

使い道

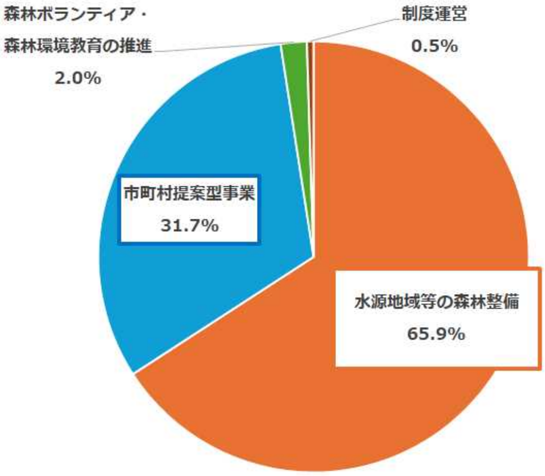
【支出】ぐんま緑の県民基金事業　　829，220千円
※令和6年度へ繰越として実施する事業　225，647千円

Ⅰ　水源地域等の森林整備	546，044千円	【林政課】

（内訳）　・令和4年度繰越事業 279，798千円
　　　　　・令和5年度事業　　 266，247千円
　　　　　※令和6年度へ繰越として実施する事業　225，647千円

Ⅱ　森林ボランティア活動・森林環境教育の推進	16，240千円	【林政課】
Ⅲ　市町村提案型事業	262，813千円	【林政課】
Ⅳ　制度運営（普及啓発・第三者機関・調査研究）	4，123千円	【林政課・林業試験場】

令和５年度総事業費に占める各事業の割合



※端数処理のため合計値は合致しません

Ⅰ　水源地域等の森林整備

１　概要

●　条件不利地森林整備

地理的、地形的な条件により林業経営が成り立たず放置されている条件不利な森林を対象として、間伐などの森林整備を実施します。

●　水源林機能増進

市町村が管理する簡易水道等の上流部の森林であって、水源涵養機能等の低下が懸念される森林を対象として、間伐などの森林整備を実施し、水源涵養機能の増進を図ります。

●　松くい虫等被害地の再生

松くい虫被害木が放置され、笹や竹が繁茂した森林を対象として、コナラやスギなどを植栽し、新たな森林へ再生を図ります。

２　事業の流れ

①区域調査委託

事業区域の検討や森林所有者の調査を実施し、判明した森林所有者に対して、事業説明や実施に関する承諾を得ます。

②実施計画調査委託

森林所有者から承諾を得た森林を対象に、事業の実施区域の測量や標準地調査を実施します。

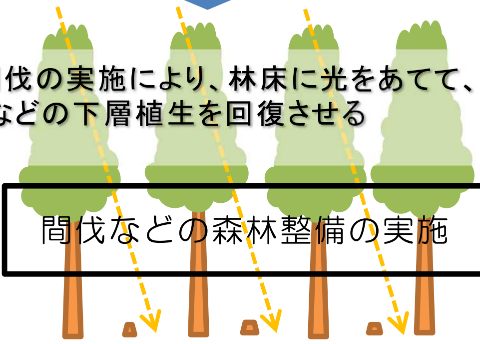
③森林整備の実施

調査結果を基に間伐等の森林整備を実施します。

３　整備イメージ

現状

・手入れがされず、公益的機能が低下した森林
・林内は暗く、下層植生が乏しい



・間伐の実施により、林床に光をあてて、下草などの下層植生を回復させる

間伐などの森林整備の実施

将来

・下層植生が回復し、公益的機能の高い森林へ移行

４　実施状況

【令和５年度の実績】　５４６，０４４千円

(内訳)令和4年度繰越事業279，798千円
令和5年度事業266，247千円(事務費・システム使用料2，637千円含む)
計546，044千円　※令和6年度へ繰越として実施する事業　225，647千円

〇条件不利地森林整備

・区域調査
R4　繰越：　39ha
R5　実績：　411ha
R6へ繰越：　62ha

・実施計画調査
R4　繰越：　59ha
R5　実績：　250ha
R6へ繰越：　51ha

・森林整備
R4　繰越：　224ha
R5　実績：　98ha
R6へ繰越：　171ha

〇水源林機能増進

・区域調査
R4　繰越：　9ha
R5　実績：　144ha
R6へ繰越：　41ha

・実施計画調査
R4　繰越：　9ha
R5　実績：　130ha
R6へ繰越：　－ha

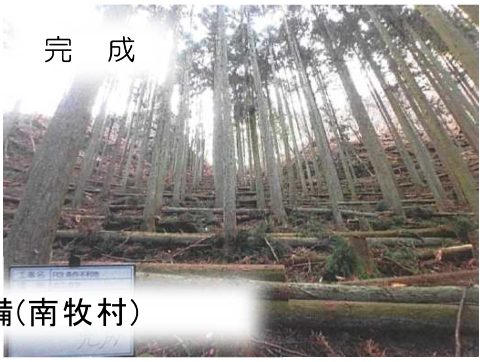
・森林整備
R4　繰越：　153ha
R5　実績：　103ha
R6へ繰越：　53ha

〇松くい虫等被害地の再生

・区域調査
R4　繰越：　－ha
R5　実績：　4ha
R6へ繰越：　－ha

・実施計画調査
R4　繰越：　－ha
R5　実績：　53ha
R6へ繰越：　－ha

・森林整備
R4　繰越：　2ha
R5　実績：　91ha
R6へ繰越：　19ha



条件不利地森林整備(南牧村)

条件不利地森林整備（安中市）

水源林機能増進（高崎市）

水源林機能増進（渋川市）

松くい虫被害地の再生（藤岡市）下刈

松くい虫被害地の再生(桐生市)下刈

5　成　果

・ 令和5年度に、令和4年度繰越予算分として379ha、令和5年度予算分として293ha、計671haの森林整備を実施しました。
・ 計画的な森林整備を推進するため、607haの区域調査（令和4年度繰越事業48ha、令和5年度事業559ha）を優先して実施した結果、約489haの森林について協定が締結され、森林整備の準備が整いました。

6　課題・方向性

・ ぐんま緑の県民基金　事業は第Ⅱ期の最終年が終了し、第Ⅱ期(5年間)の目標4,100 ha に対して72％となる約2，969ha の森林整備を実施しました。

・ 所有者不明の森林の増加や、所有規模の小規模・分散化などの進行により、事業地の選定に多くの労力や時間を要し、早期の森林整備の発注に支障をきたしています。

・ 第Ⅲ期においては整備目標である10，000ha の森林整備を実施するため、GISの活用等により整備が必要な森林を抽出するとともに、計画的な森林整備地の確保に努めます。

・ 一部の事業地において、森林整備を行っても林内照度の改善効果が低い箇所がありました。林業試験場の調査結果を受けて間伐率等の施業方法を検討し、針広混交林化を推進します。

・ 近年の労働災害が増加傾向にあることから、発生要因を把握するとともに、作業方法等を見直すことにより、労働災害の防止に努めます。

・ 森林経営管理制度を運用する市町村との連携により、意向調査結果等を共有することにより、整備が必要な森林の効率的な整備を進めます。

７　評価検証委員会の意見

Ⅱ　森林ボランティア活動・森林環境教育の推進

１　概要

●　森林ボランティア活動の推進

「森林ボランティア支援センター」の運営、専用ホームページや情報誌、メールマガジン等による情報の発信のほか、刈払機取扱等の安全指導、森林整備作業器具の貸出など、森林ボランティア活動への一体的なサポートを実施しました。また、「森林ボランティア体験会」や市町村提案型事業等への講師・コーディネーターの派遣業務等を実施しました。

●　森林環境教育の推進

「緑のインタープリター」を養成し、小中学生を対象にしたフォレストリースクールや市町村提案型事業（森林環境教育）、緑の少年団育成事業、県民を対象にした自然観察会、自然講座等への派遣などを通じて森林環境教育に取り組みました。

２　実施状況

【令和５年度の実績】　　　　１６，２４０千円

○森林ボランティア活動の推進

・森林ボランティア支援センターの運営
・専用ホームページ「モリノワ」の運用
・情報誌「モリノワ」
・森林整備作業用の機械・器具の貸出し：51回
・安全講習会　開催回数 1回
・森林ボランティア体験会　開催回数：1回
　　　　　　　　　　　　　参加人数：30人

○森林環境教育の推進

・緑のインタープリター登録者数：127人
・フォローアップ研修　開催回数：5回
・森林環境教育コーディネーター派遣：23回

情報誌「モリノワ」

貸出し機材

ボランティア体験会

安全講習会

フォローアップ研修

３　成　果

○森林ボランティア活動の推進

・森林ボランティア支援センターを運営し、森林ボランティア向けの専用ホームページや情報誌による情報発信のほか、刈払機取扱等の安全講習会、新規参入者を増やすためのボランティア体験会、森林整備作業器具の貸出等により、森林ボランティア団体の活動を支援しました。

・令和5年度末の森林ボランティア団体数は94団体と前年度と比べて横ばい傾向にあります。

○森林環境教育の推進

・「緑のインタープリター活動登録制度」により、127名の方を指導者として登録し、森林環境教育の推進を図りました。

・「緑のインタープリター」の養成と資質向上のため、フォローアップ研修を実施しました。

・緑のインタープリターは、市町村提案型事業（森林環境教育）や小・中学生のためのフォレストリースクール等において、講師として活動をしました。

・市町村提案型事業（森林環境教育）を円滑に運営するために、森林環境教育コーディネーターを派遣しました。

４　課題・方向性

○森林ボランティア活動の推進

・森林ボランティア支援センターの運営に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用した効果的な情報発信や、森林ボランティア体験会、安全講習会により新規参入者の確保を図ります。

○森林環境教育の推進

・市町村提案型事業（森林環境教育）やフォレストリースクールなど、森林環境教育の参加者数は増加傾向にあります。森林や環境に対する県民の関心と理解を深めるためには、幅広い知識や技術を持つ指導者の確保と資質の向上が不可欠なことから、引き続き緑のインタープリター養成講座やフォローアップ研修を実施し、指導者養成を図ります。

５　評価検証委員会の意見

Ⅲ　市町村提案型事業（市町村補助）

１　概要

●荒廃した里山・平地林の整備

市町村と地域住民やNPO・ボランティア団体等の協働による地域に根ざした森林整備を支援します。

●貴重な自然環境の保護・保全

市町村あるいは市町村と地域住民が行う、県動植物レッドリストで野生絶滅種及び絶滅危惧種Ⅰ、Ⅱ類に指定されている種（約７３５種）が生息している地域の保護・保全活動を支援します。

●森林環境教育・普及啓発

児童生徒や県民を対象とする森林環境教育及び森林体験活動を支援します。

森林の機能や重要性について普及啓発する取り組みを支援します。

●森林の公有林化

水源地域の森林や平地林の購入（公有林化）あるいは平地林を造成しようとする市町村を支援します。

●独自提案事業

ぐんま緑の県民税の趣旨・目的に適合し、適切な事業であると認められ、評価検証委員会の承認を得た事業を支援します。

２　実施状況

【令和５年度の実績】　２６２，８１３千円

（１）　令和５年度採択状況

・令和５年度は以下の事業を採択しました。

区分	計			事業計画量
	市町村数	事業数	補助金額（千円）	
荒廃した里山・平地林の整備	26	373	194,269	森林 33ha 竹林 23ha、管理 384ha
貴重な自然環境の保護・保全	8	17	3,387	17 箇所 動物 10 種、植物 22 種
森林環境教育・普及啓発	23	58	29,094	
森林の公有林化	－	－	－	
独自提案事業	14	24	83,972	森林 2ha、竹林 0.5ha、クビアカツヤカミキリ対策 14 事業
合計	35	472	310,722	

（2）　令和５年度事業実績

・令和５年度は以下の事業を実施しました。

	完了			事業量	参考:繰越			(廃止)		
	市町村数	事業数	補助金額（千円）		市町村数	事業数	補助金額（千円）	市町村数	事業数	補助金額（千円）
荒廃した里山・平地林の整備	26	346	164,482	森林 28ha 竹林 16ha 管理 373ha	—	—	—	9	27	23,251
貴重な自然環境の保護・保全	8	17	3,226	17 箇所 動物 10 種 植物 22 種	—	—	—	—	—	—
森林環境教育・普及啓発	23	52	23,802	11,692 人	—	—	—	5	6	948
森林の公有林化	-	-	-		—	—	—	—	—	—
独自提案事業	14	22	71,303	森林 1ha 竹林 0.5ha クビアカツヤカミキリ対策 14 事業	—	—	—	1	2	7,364
合計	35	437	262,813		—	—	—	13	35	31,563

・市町村提案型事業の実施状況

荒廃した里山・平地林の整備（前橋市）

荒廃した里山・平地林の整備（明和町）

・市町村提案型事業の実施状況

荒廃した里山・平地林の整備（上野村）

荒廃した里山・平地林の整備（川場村）

貴重な自然環境の保護･保全（嬬恋村）

貴重な自然環境の保護･保全（伊勢崎市）

森林環境教育・普及啓発（館林市）

森林環境教育・普及啓発（南牧村）

独自提案事業（高崎市）

独自提案事業（千代田町）

3　成　果

・ 今まで継続してきた事業箇所に加え、新たな事業箇所として63箇所が追加され、令和5年度は、県内全市町村において437箇所で事業が実施されました。

・ 事業実施により、野生鳥獣の出没抑制、生活道路等の見通しの確保や冬季の凍結防止等の効果が発揮され、地域住民の安全安心が図られました。

・ 自然環境の保護・保全については、貴重な動植物の生息環境を整備するための17箇所で刈り払いや伐採等の活動を行いました。

・ 森林環境教育については、11，692人の参加があり、地域の特徴に合わせた様々な森林環境教育を行いました。

4　課題・方向性

・ 里山平地林の整備における管理事業は、年々面積が増加している一方で、管理団体の構成員の高齢化、地域の人口減少により作業が負担となっています。そのため、市町村と連携し、ボランティア団体の育成や必要な支援を検討していきます。

・ 第Ⅰ期から事業を実施しており、協定期限が切れる里山・平地林の整備を行う場合は、改めて管理団体と協定を締結したうえで継続的な管理を支援します。

・ 独自提案型事業では、既存メニューでは、対応できない地域特有の課題に対応し、クビアカツヤカミキリ被害対策や安心・安全な生活環境の保全などに取り組みます。

・ 市町村提案型事業の事例集を作成・配布を行い、各市町村に改めて事業の周知を行うことで事業実施を推進します。

・ ぐんま緑の県民税第Ⅲ期に向けて、補助要件等を整理し事業のさらなる促進に努めます。

5　評価検証委員会の意見

Ⅳ　制度運営

１　概　要

● 普及啓発

県民にぐんま緑の県民税への理解を深めてもらうため、税のしくみや森林の役割の大切さについての普及啓発活動を実施します。

● 意見聴取

事業について意見聴取を行う「ぐんま緑の県民税評価検証委員会」を運営します。
事業の客観的な効果検証を行うため、県の林業試験場による調査・分析を実施します。

２　実施状況

【令和５年度の実績】　４，１２３千円

○普及啓発

【令和５年度の実績】　２，２６２千円

- 広報媒体を利用した普及啓発（県HP、チラシ 10,000 枚）
- イベント出展での PR 活動(植樹祭、ぐんまフェア、環境フェスティバル)
- 市町村提案型事業実施時の PR

市町村提案型事業 PR

のぼり旗

チラシによる PR

ぐんまフェア

植樹祭

○第三者機関の運営

【令和５年度の実績】 １５２千円

- 評価検証委員会の開催（2回）
  1回目：令和6年　2月　6日　・・・県庁29階　第1特別会議室　10:00～11:50
  2回目：令和6年　3月18日　・・・県庁29階　第1特別会議室　14:00～16:05

評価検証委員会

○調査研究

【令和５年度の実績】 １，７０９千円

- 水源地域等の森林整備事業地を対象に、安定的かつ高い間伐効果を発揮できる間伐方法の検討
- 県内17箇所に設定した調査対象地のモニタリングを実施
  （間伐後の光環境の改善及び下層植生の回復状況調査等）

間伐前林内（スギ）

間伐後林内（スギ）

間伐前林冠（スギ）

間伐後林冠（スギ）

3　成　果

○普及啓発

・ ぐんま緑の県民基金を広く普及啓発するため、普及啓発用チラシ(第Ⅲ期に向けた周知)の作成、各種イベントにおいて事業のPRを行いました。

○第三者機関の運営

・ 年2回の評価検証委員会を開催し、令和6年度に実施する市町村提案型事業475事業の採択などを行った議事の内容や審議結果を公表しました。

○調査研究

・ 県の林業試験場において「人工林における強度間伐後の樹冠疎密度の推移に関する研究」を継続実施しました。

4　課題・方向性

○普及啓発

・ 県民に事業の成果やその効果について理解を深めてもらうことや、課税期間の延長について、広報を行うため、広報内容や発信方法を工夫し、効果的な普及・啓発活動に努めます。

○第三者機関の運営

・ 事業実施団体等の意見や、評価検証委員会の評価・助言を通じて明らかになった課題の解決に努めます。

○調査研究

・ 群馬県林業試験場における研究を継続し、高い間伐効果を発揮できる間伐方法の把握に努めます。

５　評価検証委員会の意見

Ⅴ　ぐんま緑の県民税評価検証委員名簿

（五十音順　敬称略）

（任期　：令和５年４月１日　～　令和７年３月３１日）

氏名	職業・役職等	備考	
西　村　尚　之	群馬大学情報学部 情報学科教授	学識経験者 （森林生態学）	委員長
飯　島　明　宏	高崎経済大学地域政策学部 地域づくり学科教授	学識経験者 （環境科学）	
磯　田　孝　友	連合群馬事務局長	労働団体	任期 令和 5 年 11 月 14 日 から
木　村　正　一	太田市副市長	平地林代表市町村	
木　樽　千恵子	群馬県生活協同組合連合会理事	消費者団体	
草　場　史　子	群馬県 NPO 協議会幹事	NPO・ボランティア活動	
黒　田　まり子	川場村議会議員 尾瀬自然ガイド	環境教育	
須　藤　美由貴	群馬県商工会連合会 女性部連合会副会長	経済団体	
高　草　木　悟	連合群馬事務局長	労働団体	任期 令和 5 年 11 月 13 日 まで
松　下　清　枝	苗木生産者	森林・林業関係者	
森　平　仁　志	甘楽町副町長	山地代表市町村	

ぐんま緑の県民基金事業

令和５年度　実施報告書

○この実施報告書に関するお問い合わせ先

群馬県環境森林部林政課政策企画係

〒371－8570群馬県前橋市大手町1－1－1

TEL：027－226－3930　Fax：027－223－0463

E-mail：gm-zei(アットマーク)pref.gunma.lg.jp

※迷惑メール対策・防止のため、メールアドレスの一部を変更しています。メール送信の際は(アットマーク)を＠に置き換えてください。

○ぐんま緑の県民税ホームページ

https://www.pref.gunma.jp/page/7187.html